

OSAKA国際会議助成運營業務委託に係る質問及び回答

| 質問番号 | 該当箇所 | 質問内容 | 回答 |
|------|-------------------------|--|---|
| 1 | 公募要領P4 5 (2) ①オ | 共同企業体での応募の場合※Ⅰ～Ⅳについて正本のみ各1部提出 質問：共同企業体では無く、単独企業としての参加では、Ⅰ～Ⅳについて提出の必要が無いのか、ご教示をお願いします。 | お見込みとおり、必要ありません。 |
| 2 | 仕様書P2 (2) ② | 年間の「問い合わせ件数」「申請件数」「実績報告数」の想定はどの程度がお示しください。 | 問合せ件数：50件 申請件数：15件 実績報告：5件程度を想定しています。なお、1案件につき、複数回のやり取りが生じる場合があります。 |
| 3 | 仕様書P3④ | 「主催者等へのアプローチ」としてカウントできる具体的な手法は何を想定しているのでしょうか。 | 訪問又はWeb会議などインターネットを通じた接触といった、主催者等の反応を確認できる手法を想定しています。 |
| 4 | 仕様書P3④ | アプローチ先リスト（ターゲットリスト）は実行委員会から提供されるのでしょうか。 | 委託業務開始当初に提供するリストはありません。提案事業者のこれまでの業務や実績などを踏まえた知見をもとに、どのような主催者等にアプローチするかも含めてご提案ください。ただし、委託期間中に、実行委員会において、大阪での開催が有望な会議の主催者等の情報を入手した場合には、提供することがあります。 |
| 5 | 公募要領P7表内の問合せ対応・申請等受付の項目 | 問い合わせ対応や広報において、英語以外の多言語対応は必要でしょうか。 | 基本は英語とします。他に対応可能な言語があればご提案ください。 |
| 6 | 公募要領P7表内の問合せ対応・申請等受付の項目 | 外国語への対応は翻訳サービス等を利用した定型文対応でよいのでしょうか。 | 電話及び電子メールによる問合せにおいては、自動応答（機械・AI）ではなく、有人（担当者）で対応できる体制を構築することとしますが、その際に、担当者が翻訳サービス等を利用することは制限しません。 |
| 7 | 仕様書P2②ア | 「連携を取りやすい」とは、物理的な距離（大阪市内等）を指すものでしょうか。オンライン会議等で即時連絡が取れる体制であれば問題ないでしょうか。 | お見込みのとおり、物理的な距離（大阪市内等）に受付窓口を設置することを想定しています。実行委員会から対面での会議の実施（大阪市内）をお願いすることがありますので、会議に参集できるようにしてください。なお、通常の連絡は電話、電子メール、Web会議で問題ありません。 |
| 8 | 仕様書P4 イ | 実行委員会が用意するWebサイトのプラットフォーム（CMSの種類やセキュリティ要件）は何でしょうか。 | 実行委員会のWebサイトをご確認ください。 https://www.osaka.cci.or.jp/osaka-mice/ セキュリティ要件については、受託事業者として契約後、必要に応じて情報提供いたします。 |
| 9 | 仕様書P4 イ | 新たなWebサイトを構築する場合、サーバー費用は2,300万円の委託料に含まれるのでしょうか。 | 含まれます。 |
| 10 | 仕様書P2 | 過去の事案などから、月間の問合せ件数（電話・メール別）、月別傾向をお示しください。 | 今回が新規の事業であるためお示しできるデータはありません。 |
| 11 | 仕様書P2 | 1件当たりの、申請書に係る審査対応時間の想定をご教示ください。 | 今回が新規の事業であるためお示しできるデータはありません。 |
| 12 | 仕様書P2 | 申請書の申請項目数はどの程度になるのでしょうか。 | 実行委員会のWebサイトにて、申請様式等一式をダウンロードできますので、ご確認ください。 https://www.osaka.cci.or.jp/osaka-mice/ （関係する書類等） OSAKA国際会議助成金交付要綱：第5条、第8条 OSAKA国際会議助成金募集要項：P6,7 様式：第1号、第1-1号、第1-2号、第4号、第4-1号、第4-2号、第4-3号 |
| 13 | 仕様書P2 | 外国語対応の必要言語についてお示しください。 | 基本は英語とします。他に対応可能な言語があればご提案ください。 |
| 14 | 仕様書P2 | 問合せの繁忙期の想定をお示しください。 | 今回が新規の事業であるためお示しできるデータはありません。 |
| 15 | 仕様書P1 | 問合せの応答率・メール回答時間の最低基準想定あればお示しください。 | 今回が新規の事業であるためお示しできるデータはありません。 |
| 16 | 仕様書P2 | 過去実施類似案件のFAQや過去問合せ内容のご提供いただけますでしょうか。 | 受託事業者として契約後、類似案件において本事業に有用な情報があれば提供します。 |
| 17 | 仕様書P2 | 申請1件あたりの書類点数・ページ数をお示しください。 | 質問12の回答をご覧ください。 |
| 18 | 仕様書P3 | 不備率（差戻し割合）の想定はあればお示しください。 | 今回が新規の事業であるためお示しできるデータはありません。 |
| 19 | 仕様書P3 | 一次審査を終えた申請案件として説明を行うとありますが、説明とは何を指しますか。具体的にお示しください。 | 申請書類について、必要事項が適切に記載されていること、又は、補正を求めた項目の記載が適切に修正されていることを確認した旨を、実行委員会に説明していただくことを想定していますが、申請書類のどの項目に注意して説明していただくかについては、契約後、実行委員会との協議で決定します。 |
| 20 | 仕様書P3 | 二次審査説明資料には定形の様式はあるのでしょうか。 | 様式は定めていません。 |

| | | | |
|----|-------|--|--|
| 21 | 仕様書P3 | 申請者へのヒアリング、写真撮影とありますが、具体的にどのような内容をヒアリングするか、写真点数、必要な写真など想定されているかお示してください。 | ヒアリングについては、交付申請書類に記載された内容に相違ないかを会議場で確認する際に、疑義がある場合に主催者等に対して行うことを想定しています。 写真撮影について、必要点数は特に定めていませんが、撮影する内容は、実績報告において提出書類（「OSAKA国際会議助成金募集要項」P8参照）としている助成事業の開催状況等を確認できる写真や、助成事業であることを明記したことが確認できる写真を想定しています。 |
| 22 | 仕様書 | 年間の実績報告件数想定についてお示してください。 | 5件程度を想定しています。 |
| 23 | 仕様書P3 | 実績報告の証憑の種類はどのようなもので、何点想定されていますか。 | 実行委員会のWebサイトにて、実績報告様式等一式をダウンロードできますので、ご確認ください。 https://www.osaka.cci.or.jp/osaka-mice/ (関係する書類等) OSAKA国際会議助成金交付要綱：第14条 OSAKA国際会議助成金募集要項：P8 様式：第6号、第6-1号、第6-2号 |
| 24 | 仕様書P3 | 実績報告における不備率の想定があればお示してください。 | 今回が新規の事業であるためお示しできるデータはありません。 |
| 25 | 仕様書P3 | アンケート項目数、記述の項目の数、及び回答率の想定を教えてください。 | アンケートについては、実行委員会で作成しますが、項目数等は未定です。回答率は100%を想定しています。 |
| 26 | 仕様書P3 | アンケートの形式（選択式/記述式など）をお示してください。 | 選択式、記述式の項目いずれも含まれます。 |
| 27 | 仕様書 | 過去の類似案件のアンケート回答率をお示してください。 | 受託事業者として契約後、情報提供いたします。 |
| 28 | 仕様書 | アンケート回答の目標値があればお示してください。 | 100%です。 |
| 29 | 仕様書P3 | アンケート（メール/電話）収集のための勧奨の回数など想定あればお示してください。 | 基本的には実行委員会による交付決定（様式第5号による通知）時と、申請者からの実績報告（様式第6号による報告）時を想定していますが、未回答が続く場合など、状況に応じて、随時勧奨することは可能です。 |